

避難者の状況

1. 避難者の避難先の分類及び概要

(1) 応急仮設住宅

- ・災害救助法に基づき県が設置
- ・対象者：住家が全壊又は流出し居住する住宅がない世帯、ライフラインが途絶した地域の世帯

①建設型の応急仮設住宅

杷木(林田団地) 48戸、 朝倉(宮野団地) 7戸、 甘木(頓田団地) 30戸

②借上げ型の応急仮設住宅 (=みなし仮設住宅)

福岡県が借り上げた民間賃貸住宅を提供

(2) 公営住宅 (一時避難)

災害により住宅に被害を受けた方に対し福岡県、朝倉市、他市町の公営住宅等を提供。

(3) 自力避難 (※)

応急仮設住宅の入居要件を満たす世帯のうち、自力で仮住宅を確保している世帯 (例：耐震基準を満たさない民間賃貸住宅や親族宅等)

2. 避難者数の推移

避難先の分類 (建設型、みなし仮設、公営住宅、自力避難) 別の入居世帯数は、以下のとおりです。

(単位：世帯)

年	平成29年			平成30年					ピーク時との比較
	8月	9月	12月	1月	3月	6月	9月	12月	
建設型仮設	40	78	85	85	85	85	83	83	▲ 2
みなし仮設	206	249	276	286	278	271	259	243	▲ 43
公営住宅	52	48	47	44	35	31	28	26	▲ 26
自力避難	-	-	4	19	32	36	34	31	▲ 5
合計	298	375	412	434	430	423	404	383	▲ 51

内の数字は、分類避難先の最大 (ピーク) 入居世帯数。

ピーク時の入居世帯数と比較して、建設型仮設は2世帯、みなし仮設は43世帯、公営住宅は26世帯、自力避難は5世帯、合計51世帯が退去されました。